



--	--	--	--	--	--	--	--

10-M16-1		クリニカル・パス			
パス名	股関節手術(THA) (右・左)	外来 医師		主治医	
		外 来 看護師		病 棟 看護師	

氏名 \_\_\_\_\_ 男・女

月日経過	月 日~	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日			
目標	ゆるみ、沈下をおこさない		創が治癒する 介助下でシャワーができる				1/2荷重で 歩行できる		入浴(シャワー浴)が自立する 更衣が自立する 自宅の退院準備が整えられる			側臥位が自立する 2/3荷重で歩行できる				
検査	血液検査 ( 月 日 ) レントゲン検査 ( 月 日 ) 1回/週							血液検査 ( 月 日 ) レントゲン検査 ( 月 日 ) 1回/週								
食事	入院時指示食															
処置・観察	体温															
	脈拍															
	便回数															
	不良肢位 リハビリ															
	半抜針			全抜針		検創										
注射・内服																
行動				検創後、可能な らばシャワー浴開 始(2回/週) 初回指導および 介助				1/2荷重							2/3荷重	
説明				看護師より説明 入浴方法および 注意点について				家屋チェック2 改造や必要物品 の購入状況確認							看護師より説明 スポンジ体交可	
追加・備考				Ptの反応				Ptの反応							Ptの反応 身障書類の確認 中間オーディット	
中間オーディット																
実施																



# 股関節手術（THA）アセスメントツール

## < 術前 >

目標：手術に対する不安が最小限となる  
術前オリエンテーションの内容が理解でき実施できる  
術後の安静度や体位の制限を理解し、体位交換ができる。  
日常生活行動が安定している(落ち着きがない、食欲不振、不眠などの生理的变化がない)  
不安を言葉にできる  
不安や恐怖を示す訴えや徴候がない(緊張、イライラ、そわそわ、頻呼吸、顔面蒼白、紅潮)  
目標：体調を十分に整えて手術に望むことができる  
感冒症状がない  
貧血がない  
血圧や血糖が安定している

## < 術直後 当日～1日目 >

目標：麻酔による合併症が出現しない  
低酸素血症、呼吸不全、肺炎の徴候がない  
イレウス徴候がない  
目標：出血が最小限で貧血を起こさない(～3日目まで)  
必要時適切に輸血が行われHtが25%以下にならない  
出血による血圧低下がない  
術後ドレーンからの排液が1日30ml以下になりSBチューブが抜去できる  
目標：神経症状、血栓徴候がない  
足趾の運動が良好でありしびれがない  
患肢の著明な腫脹がない  
患肢の冷感やチアノーゼがない

## < 術後2日目～ >

目標：疼痛がコントロールされる  
疼痛がフェイススケール1～2でコントロールされる  
目標：脱臼しない  
不良肢位や危険行動がなくレントゲン上、脱臼を示す所見がない

## < 術後3日目～ >

目標：38 以上の発熱がない

目標：貧血がない  
Htが25%以上、Hbが10g/dl

目標：自動SLR 60度が可能になる

## < 術後4日目～ >

目標：下垂座位が介助でできる  
目標：車椅子への移動が介助でできる  
目標：ポータブルトイレが介助下でできる

## < 術後6日目～ >

目標：車椅子でトイレへ行くことができる  
目標：車椅子やトイレへの移動が自立する  
目標：感染徴候がない  
CRPが0.3以下  
創部の発赤・腫脹・浸出液を認めない  
目標：1/3荷重(両松葉杖)で歩行できる  
目標：ゆるみ沈下を起こさない<術後12日目～>  
目標：創が治癒する  
抜針後の?開がない  
目標：介助下でシャワー浴ができる  
目標：自宅の退院準備が整えられる  
家族の協力や福祉サービスを利用して退院準備がすすめられる

## < 術後16日目～ >

目標：1/2荷重で歩行できる  
片松葉杖または歩行器で歩行できる  
目標：シャワー浴が自立する  
目標：更衣が自立する

## < 術後21日目～ >

目標：靴下の着脱ができる  
目標：2/3荷重で歩行ができる  
目標：側臥位が自立する  
目標：目標：自宅の退院準備が整えられる

## < 術後28日目～ >

目標：1本杖歩行ができる  
目標：階段の昇降ができる  
目標：畳からの立ち上がりができる

## < ～退院日 >

目標：退院後の継続ケアについて理解し、実施できる  
日常生活上の注意点、今後の定期受診の必要性が理解でき実施できる  
目標：1本杖歩行が安定する  
目標：次回受診日が言える

# オーディットおよびサマリーについて

## 1. 初期オーディット

合併症や追加する問題点や目標・観察項目がないかをオーディット時に確認し追加修正があればその内容を看5'(中間サマリー用紙)に記載する。  
合併症や追加する問題点に関しては看3に問題点を挙げ、看5(経過記録)にSOAPする。

## 2. 中間オーディット

目標の達成度(計画が予定通りの進んでいるか)を判定し計画の遅延や目標が達成できていない場合は中間サマリーを記載し、目標や計画の追加訂正を行う。  
医師や薬剤師、理学療法士および看護師日の指導や常生活援助、リハビリなどに対する患者の反応をパスシートや看5を活用し記録することで上記の指標にする。

## バリエーションについて

バリエーション発生時はバリエーションコードおよびその内容を簡潔に備考欄に記載する。

## その他

食事内容の変更は必ず変更伝票にパス患者であることを明記する。  
バリエーション発生により薬剤の変更や入院日数の変更があった場合は必ず医事課(担当)に連絡する。  
パスに関するトラブルは必ず各部署のパスリーダーに報告する。

# 股関節の手術を受けられる















































様へ

## 目標

心身ともに安定した状態で手術を受けることができる  
一本杖で安全に歩行できる  
日常生活がスムーズに行える

説明医師

看護師

月日	月 日	月 日	月 日 (手術日)		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院～	手術前日	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5～6日目	術後7～13日目	14～20日目	21～27日目	28～退院日	
目標								下垂座位が介助でできる	車イスへ介助で移動できる	車イスへの移動が自立する	シャワー浴や更衣ができる	松葉杖または歩行器で歩行できる	杖で歩行ができる	一本杖で安定した歩行ができる
検査	手術に必要な検査は外来で終了しています 動脈採血をします 				血液検査と尿検査を行います  				血液検査とレントゲン検査を行います (1回/1～2週程度)  					
食事	制限ありません (必要時は特別食)	夕食後、絶飲食	絶飲食 (午後手術の場合は当日7時まで水分可) 	朝より食事開始										朝食後、退院
処置	手術で使用する輸血のための採血をします 	手術部位にマークをつけます	手術前に洗腸をします ネームバンドを付けます	翌朝まで酸素吸入をします			ドレーン抜去 (状態により早くなる場合があります)		ガーゼを除去します		経過がよければ抜糸します (8～10日目頃) 個人差があります			
注射・内服	いつも服用されているお薬があれば必ず持参してください 	消灯時に下剤と眠剤を服用します 	手術前に注射を行います 	術後点滴が3本と抗生物質の点滴があります (朝と夕) 										
				痛み止めのチューブが腰から入ります 										
				痛みが強い時は看護師に申し出てください				点滴チューブを抜きます						
行動	制限はありません  入院までに浴室、トイレの広さを測定しておいてください。 体位交換と車イスの練習を行います	シャワー浴します 		ベッド上で安静にしてください  手術後尿の管が入っています 	ベッドアップ45度  体を拭いて着替えをします (タオルを2枚ご準備ください) 	トイレ移動の練習をしてから抜きます ポータブルトイレを使用します 	ベッドアップ60度  体を拭いて着替えをします 	下垂座位  車イスでトイレに行けます	体拭きと洗髪をします   着替えをします 	歩行練習開始  経過がよければシャワー浴を開始します (11日目頃) 2回/週 			退院となります 	
リハビリ	術前よりリハビリをする場合があります				リハビリ開始 (ベッド上で) 	安静度やリハビリの進行には個人差があります。				1/3荷重をかけます (7日目～) 	体重の1/2をかけて松葉杖または歩行器で歩行します (14日目～)	体重の2/3をかけて松葉杖で歩行します (21日目～)	体重の全部をかけて杖で歩行します 横向きはスポンジをはさんで行います	
説明	医師より説明 手術について  看護師より説明 入院生活について 必要物品に 	麻酔科医より説明 手術の麻酔について  薬剤師より説明 お薬について 		医師より説明 手術経過について 	足の指の屈曲運動を積極的に行ってください 					看護師より説明 入浴方法および注意点について 	看護師より説明 退院後の日常生活について 		医師より説明 退院後の診察について  看護師より説明 退院療養計画書について 	

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

2003.06.01版

京都第一赤十字病院